



公益社団法人 街づくり区画整理協会

Urban Regeneration And Land Readjustment Association

も く じ

会長ご挨拶	3
協会の活動	4
協会の事業概要	
大会等の開催及び情報交換・交流 ...	5
講演会等の開催	5-7
専門図書の発行	8-9
機関誌の発行	10
相談室の常設	11
表彰の実施	11
調査・研究	12-13
入会のご案内	14
協会ホームページのご案内	15
協会事務所のご案内	16

会長ご挨拶



当協会は、平成 17 年 5 月、社団法人日本土地区画整理協会と社団法人全国土地区画整理組合連合会が一つの法人となり、再発足して区画整理によるまちづくり事業を推進してまいりました。

その後、平成 24 年 4 月 1 日、いわゆる公益法人改革法に基づき、公益社団法人として新たなスタートを切りました。

土地区画整理事業は、その手法を活用することで、都市基盤を整備し、効率的な土地利用を促進することができ、都市計画を面的に具体化するうえで最も有効な手段だと言えます。これまで、戦災や大震災などの災害からの復興、また急速な都市化に対応したまちづくりにも大いに活用され、その手法は「都市計画の母」と呼ばれています。

近年、わが国は、急激な人口減少や少子・高齢化の進展など、社会を取り巻く環境の急速な変化に直面しています。このような状況に対処するため、「コンパクト・プラス・ネットワーク」という観点での都市づくりが進められています。一方、全国的なまちづくりの面での課題としては、既成市街地における多くの未整備なままの土地の存在や、密集市街地における防災上の問題などがあります。また、相次ぐ台風の上陸や豪雨、地震などの大規模な大災害が発生するなか、安全な都市づくりにも取り組んでいかなければなりません。

当協会は、区画整理の手法を活用したまちづくりの調査研究、専門的知識・情報の提供、普及・啓発活動など事業の充実に努め、市街地整備をめぐる数多くの課題解決に向け、社会的な役割を十分に果たしていきたいと考えております。

今後とも、皆様の様々なご要望に的確にお応えし、区画整理事業に関する相談体制の強化に取り組むなど、各地の区画整理事業の円滑な推進に努めてまいります。

令和 3 年 4 月 1 日
公益社団法人街づくり区画整理協会
会長 久元 喜造（神戸市長）

協会の活動



推進・啓発、情報交換・交流

土地区画整理全国大会、区画整理と街づくりフォーラムの開催により、区画整理による街づくりを推進・啓発させるとともに、会員相互の情報交換、交流活動を行っています。また、個人、団体の優れた業績に対して表彰を行っています。



支援、指導・助言

区画整理相談室、セミナー、研修会、機関誌・専門図書の発行等による情報の提供、支援、指導・助言により、円滑な区画整理事業の実施、既成市街地等における区画整理手法の活用による街づくりを推進しています。



調査、研究

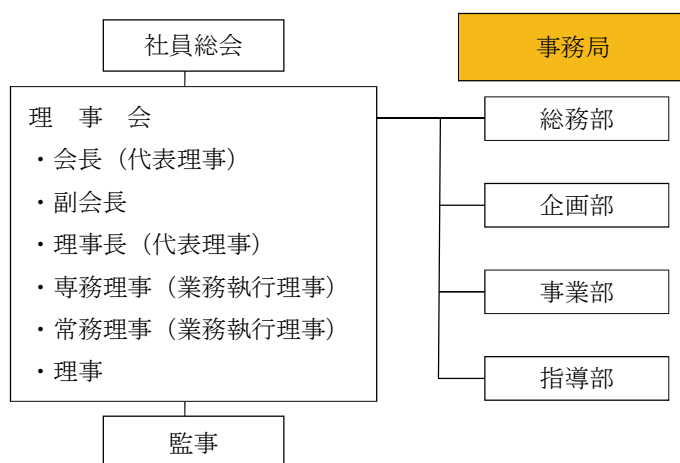
区画整理事業の諸課題を解決するため、地方協会会員、政令指定都市会員、組合会員の各部会による研究、賛助会員による研究会を実施しています。

また、自主研究や受託調査により、市街地整備に係る諸課題の解決を目指します。

協会の沿革

昭和45年8月12日	社団法人 日本土地区画整理協会 設立
昭和56年8月20日	社団法人 全国土地区画整理組合連合会 設立
平成17年5月1日	社団法人 街づくり区画整理協会 発足 (上記2団体が合流)
平成24年4月1日	公益社団法人 街づくり区画整理協会 移行

協会の組織



協会の会員数

正会員	415 団体
公共団体	336
組合等	79
特別会員	—
賛助会員	149 団体
合計	564 団体

(令和3年4月1日現在)

大会等の開催及び情報交換・交流

全国の土地区画整理事業関係者が集まって、セミナーや事例の発表を行う全国的な会合として、「土地区画整理全国大会」と「区画整理フォーラム」があり、それぞれ隔年で交互に開催しております。

■土地区画整理全国大会

土地区画整理事業の新しい動きや事業の問題・諸課題を共有・検討すること等を目的に、土地区画整理全国大会を2年に1回開催しています。



第42回土地区画整理全国大会（令和元年 11月7・8日 熊本市）

■区画整理フォーラム

土地区画整理事業や街づくりに関わる人々と日ごろの研究成果等の発表を通じ、多様な技術・ノウハウの取得や最新情報を共有する区画整理フォーラム等を2年に1回開催しています。



区画整理と街づくりフォーラム2020（令和2年11月12・13日 神戸市）

講演会等の開催

土地区画整理事業に関する知識・技術の普及・向上を図るため、様々なレベルやテーマに応じた実務講習会を開催しております。

■街づくり現地研修会

先行事例等の現地において事業概要の説明を受け、実地見学することにより、知識・技術の普及・向上を図っています。



令和元年度 現地研修会 『市街地再開発事業との一体的施行によるまちづくり』
～湊二丁目東土地区画整理事業・湊二丁目東地区第一種市街地再開発事業～（令和 元年 10 月 23 日 東京都 中央区）

土 地 区 画 整 理 セ ミ ナ ー

「土地区画整理セミナー」は、土地区画整理事業にかかる基礎的事項から専門的かつ詳細にわたる充実した内容
2021年度から、会場での対面式の講習から、インターネットを活用した録画配信による講習方式に移行しました。

企画・調査	都市計画	事業計画	換地設計	仮換地指定
A 土地区画整理の仕組みと運用①・②				
B 助成制度等		E 土地区画整理測量		
	D 土地区画整理と都市計画法等		N 換地計画等	
C 既成市街地の再編整備				
		G 事業計画と資金計画		
H 区画整理と再開発の一体的施行				
P 市街地整備と景観形成				

■ 各 セ ミ ナ ー の 概 要

A 土地区画整理の仕組みと運用①・②

土地区画整理事業の初級者を対象に、事業の仕組みや制度について、また土地区画整理に係る今日の課題や事業段階ごとの留意点等について解説します。

E 土地区画整理測量

土地区画整理事業に求められる地区界測量・確定測量等精度の高い測量技術について、ノウハウや留意事項等についての実践的な知識の修得を図ります。

B 助成制度等

土地区画整理事業の助成制度は、近年の社会環境の変化に伴い、多様な事業ニーズに対応した補助制度が拡充されており、近年創設された諸制度や新しい助成・融資制度について修得を図ります。

F 区画整理と再開発の一体的施行

区画整理と再開発の一体的施行の事業構築を図る上で、全体像を把握すると共に、土地区画整理事業者が習得しておくべき区画整理と再開発事業のそれぞれの特徴、換地の特例となる申出換地の手続き、換地計画との関係等を事例を交えわかり易く解説します。

C 既成市街地の再編整備

柔軟な土地区画整理、再開発との一体的施行、細分化土地の集約による大街区化、土地の代わりに建築物の一部とその建築物の土地の共有持ち分を換地とする立体換地などのさまざまな整備手法の解説や事例紹介により、実践的な技術の習得を図ります。

G 事業計画と資金計画

事業計画作成の基礎、市街地整備上の課題の捉え方、各種調査で考慮すべき点、環境問題への対応など、計画策定上の基礎となる考え方とともに、既成市街地再編を行う上での土地区画整理の適用や、資金計画の立案の考え方等について解説します。

D 土地区画整理と都市計画法等

土地区画整理法に関連のある、都市計画法（用途地域、地区計画）、総合的なまちづくりのための都市再生特別措置法を中心に、関係法規の仕組みをわかり易く解説します。

I 移転補償

移転補償の構成や考え方、移転計画、移転手法及び営業補償・農業補償等、補償業務全般に関わる基礎知識から実践的知識の修得を図ります。

の講習を実施しており、土地区画整理事業に携わる方々の技術の研鑽・向上に大いに役立っています。

移転・補償	工 事	換地計画・換地処分	清算	持続的なまちづくり
				◎エリアマネジメント
Ⅰ移転補償				
Ⅱ土地区画整理と関係税制				
Ⅲ土地区画整理事業と建築物等の移転（直接施行）			◎清算・登記	
	Ⅳ工事計画と工事調整			
	Ⅴ土壌汚染と土地区画整理事業			

Ⅱ 土地区画整理と関係税制

土地区画整理関係税制の概要、区画整理事業における各種税制上の特例、それぞれの税制の運用指針について具体的な事例を交え解説します。

Ⅲ 土地区画整理事業と建築物等の移転（直接施行）

土地区画整理事業を進める上で直面する建築物等の移転問題について、直接施行のノウハウを関係法規のわかり易い解説と事例紹介を行います。

Ⅳ 工事計画と工事調整

工事計画と仮換地指定、移転計画、また関係機関との調整等、事業進捗管理に必要な知識等の修得を図ります。

Ⅴ 土壌汚染と土地区画整理事業

関心の高まる土壌汚染問題について、関係法規の仕組みと適切な対応のノウハウを、わかり易い解説と事例紹介により修得を図ります。

Ⅵ 換地計画等

換地設計、仮換地指定、換地計画、換地処分等、事業当初から完了までの換地業務を網羅し、実務上必要な基礎知識から実践に役立つ知識の修得を図ります。

Ⅶ 清算・登記

換地処分に伴う清算事務及び登記の実務について、宅地の評価、差額清算と比例清算、清算金徴収交付事務等の換地実務の知識、また、土地の分筆・合筆登記等の登記実務の知識の修得を図ります。

Ⅷ 市街地整備と景観形成

都市の賑わいの創出、都市活力の涵養等が期待できるデザインに優れたまちづくりの企画・計画段階で留意すべき景観形成や空間構成について、そのノウハウの修得を図ります。

Ⅸ エリアマネジメント

エリアマネジメントの考え方、仕組及び手法について、まちなかや住宅地における先進事例を示しながら、国の支援制度の活用方法やまちを育てる様々なアイデアを具体的に解説します。

専門図書の発行

各種調査・研究結果に基づき「土地区画整理必携」等の専門図書を刊行しています。
各図書の目次は、当協会ホームページでご確認いただけます。

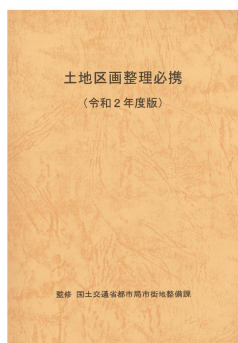


土地区画整理事業・市街地再開発事業 一体的施行実務ガイドマニュアル

土地区画整理事業と市街地再開発事業の一体的施行を検討・計画・実施している実務担当者に活用いただく参考書です。各章の冒頭に制度の改訂要領案を示し、解説を掲載した本編に加え、参考資料編として、土地区画整理事業及び市街地再開発事業のそれぞれの概要・これまでに実施された一体的施行の実施例等を紹介した2部構成としています。

A4サイズ 令和3年3月 発行

定価（税込）5,000円 会員価格（税込）4,000円

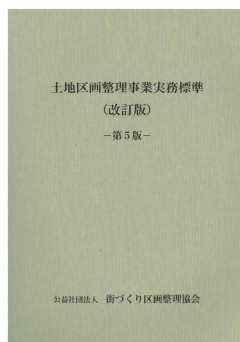


土地区画整理必携（令和2年度版）

土地区画整理事業の制度（換地等の特例制度、柔らかい区画整理など）や支援措置（交付金、補助事業制度、起債制度、融資制度など）をはじめ、土地区画整理事業と一体的な実施が可能な各種事業制度ならびに立体換地マニュアル、組合経営改善ガイドライン、社会資本整備総合交付金交付要綱などを織り込んだ解説書です。

A5サイズ 令和3年3月 発行

定価（税込）7,500円 会員価格（税込）6,000円

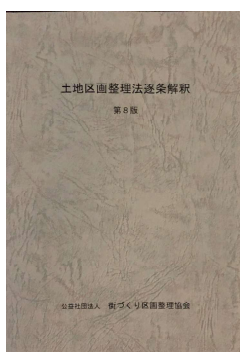


土地区画整理事業実務標準改訂版（第5版）

土地区画整理事業を施行しようとする者又は施行者が必要とする実務について、事業の立ち上げから事業の完了までわかりやすく解説するとともに、円滑な実務を進める上で活用できる標準的な書式や様式を掲載している、いわゆる実務者の必携本です。

A4サイズ 平成31年4月18日 発行

定価（税込）9,900円 会員価格（税込）8,400円

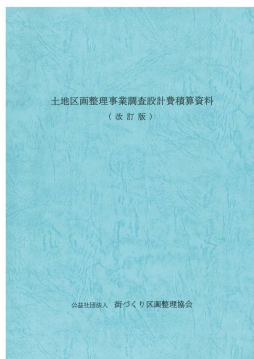


土地区画整理法逐条解釈（第8版）

土地区画整理法の条文ごとに、訳文や解説を示しながら、必要に応じて政令や規則をわかりやすく併記したコンパクトな解説書です。巻末には政令や規則の全文も掲載しています。

A5サイズ 令和2年4月1日 発行

定価（税込）4,800円 会員価格（税込）3,900円

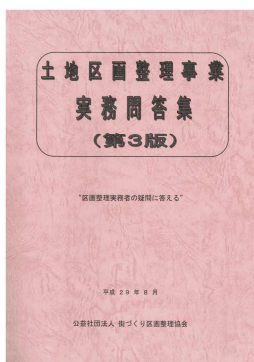


土地区画整理事業調査設計費積算資料（改訂版）

土地区画整理事業の事業立ち上げから終了までの（測量・補償を除く）主な調査・設計業務について、標準的な歩掛を参考として示しています。この度、修正率の計算方法の多くの問合せに対応して、修正率の計算方法に解説を加え、より分かりやすくして発行致しました。

A4サイズ 令和2年12月25日 発行

定価（税込）3,600円 会員価格（税込）2,900円

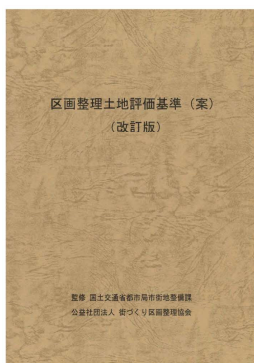


土地区画整理事業実務問答集（第3版）

区画整理実務者の疑問に答えるべく、法的解釈や運用のあり方、実務上の処理方法等について、法改正等を踏まえるとともに、新たな課題に対応した項目を加え、22分類、555テーマと内容を大幅に充実し、第3版としてまとめた問答集です。

A4サイズ 平成29年8月 発行

定価（税込）7,700円 会員価格（税込）6,100円



区画整理土地評価基準（案）（改訂版）

土地評価に関する基本的考え方を整理した上で、路線価式評価方法による評価基準（案）、収益還元方式による評価基準（案）、比準方式による評価基準（案）それぞれについて、条項ごとに、【解説】【運用上の留意事項】及び【参考事例】を整理した書で、実務担当者にとって、よりわかりやすく、使いやすいものいたしました。

A4サイズ 平成24年10月31日 発行

定価（税込）3,600円 会員価格（税込）3,000円



月刊『区画整理』 CD-ROM

当協会発行 月刊『区画整理』 誌の昭和33年1月号（創刊号）から平成12年12月号まで、516冊、3万4千ページをおさめたCD-ROMです。

※月刊誌有料購読者も会員価格で販売します。

定価（税込）5,000円 会員価格（税込）4,000円

各発行物は当協会ホームページからご購入いただけます

機関誌の発行

機関誌「区画整理」を毎月発行しています。



機関誌「区画整理」

毎月1回発行の月刊誌

土地区画整理を活用した市街地整備に関する各種記事を掲載

930円/月（消費税込み・送料別・令和3年度価格）

年間購読の場合は、11,160円

（送料は協会の指定業者による送付のみ協会負担）

■主な記事

- ・「企画特集」……………注目されているテーマについて、事例紹介を交えながら紹介
- ・「わだい」……………ホットな地区情報を掲載
- ・「巻頭言」「ご当地自慢」「事例紹介」…各地域で取り組まれているまちづくりを掲載
- ・「談論風発」「ほりゆうち」……………土地区画整理のベテランからの寄稿等を掲載
- ・「相談室」……………土地区画整理に関する各種制度を解説
- ・「知恵袋」……………事業を円滑に迅速に進めるための工夫等を掲載
- ・「海外まちづくり事情」……………海外でのまちづくりの紹介
- ・「随想」……………分野を問わず、活躍されている女性を紹介
- ・土地区画整理関係4団体による講習会、イベントの予定、発行図書のご案内

■令和3年「企画特集」一覧（令和3年4月1日現在） ※事情により変更可能性あり

- 1月号 「市街地整備 2.0」と With/After コロナのまちづくり
- 2月号 持続可能で多様性に富むまちづくり ～柔軟な区画整理～
- 3月号 拠点再生とまちづくり
- 4月号 駅とまちの関係づくり ～人が集まる・集まりたくなる駅前空間～
- 5月号 区画整理の見える化
- 6月号 令和3年度定時社員総会報告
- 7月号 高台まちづくり ～水災害リスクに備える～
- 8月号 これからの区画整理における無電柱化
- 9月号 市街地整備 2.0 の更なる展開
- 10月号 新たな地方における働き方と街づくり
- 11月号 東日本大震災・復興の10年
- 12月号 第43回土地区画整理全国大会（浜松市）

相談室の常設

街づくりや土地区画整理事業における個別の課題に応える“相談室”を常設し、Eメールにより、年間約500件を超える相談を受け付けています。当協会職員のほか当協会に登録した各分野の専門家である専門参与により、適切な回答に努めています。

相談内容は、街づくりの立ち上げの段階から、事業の実施段階を経て、事業の完成・収束に至るまで、土地区画整理事業の技術的な課題、組合運営等の運用上の課題、審査請求・訴訟等の法律的課題などについて、広く相談に応じています。

▶ご相談はこちら



<https://ur-lr.or.jp/consultation/>

表彰の実施

土地区画整理事業の推進に特段の功績のあった個人や土地区画整理事業の推進について他の模範とすべき団体を街づくり区画整理協会会長賞又は同功労賞として表彰しています。

また、東日本大震災における復興土地区画整理事業の応援派遣者を対象とした功労賞の表彰を行っています。

さらに、（公財）都市計画協会の区画整理部門表彰である阿部功労賞の受賞者に本協会として副賞を授与しています。



区画整理と街づくりフォーラム 2020での表彰（令和2年11月13日 神戸市）

調査・研究

土地区画整理事業によるまちづくりの推進を図るため、次のような調査・研究活動を行っています。

部会の開催

地方公益法人部会（一部会）

当面する課題の解決策等について研究・討議を行っています。

大都市部会（二部会）

会員の課題解決方策の研究のため、政令指定都市等の担当者による研究討議を行っています。その際、既成市街地整備の新たな取り組みを重点に検討を行っています。

組合土地区画整理部会（三部会）

現在事業中の組合施行土地区画整理事業の経営改善方策や既成市街地などにおける新たな組合施行土地区画整理事業（会社施行を含め）の展開など土地区画整理組合等事業の諸課題に関して、調査・研究・情報交換及び解決策の提案等を行っています。



三部会総会の様子（令和2年11月13日 神戸市）

自主研究

（１）都市の防災・減災に向けた取り組みの促進に必要な検討を行っています。具体的には

平成23年の東日本大震災の被災地の復興事業に関しては、復興土地区画整理事業の概要を取りまとめるとともに、全国から被災地に対して応援支援された公共団体等の職員の方々の応援支援の実績を再整理し、復興区画整理の応援支援に関わった公共団体等、並びに応援支援をされた全ての方々へこの小冊子を配布しました。

また、応援支援われた方々に対して、次なる大規模津波災害に備えるためのアドバイス、ヒント、課題等に関する「復興支援に関するアンケート調査」にご協力頂き、今後、その調査結果を有効活用していきます。



「東日本大震災からの復興土地区画整理事業の記録（概要）」
（令和2年7月作成、9月～配布）

（２）既成市街地の整備推進方策及び区画整理組合の経営改善方策等の諸課題について調査・研究しています。具体的には、

・街づくりの新たなニーズに対応し、エリアマネジメントの促進や都市環境形成の実現に向けた検討等を行っています。
・「小規模で柔軟な区画整理活用ガイドライン」（国土交通省：平成30年11月）、
「立体換地活用マニュアル」（国土交通省：平成28年9月）等の活用等により、コンパクトシティの実現に向けた“区画整理手法を活用したまちづくり”の普及・推進のため、関係する機関等とも協力して調査・事業化促進支援等を行っています。

- ・建物との一体的な土地区画整理事業を推進するため、一体的施行に係る諸課題について検討等を行います。
- ・土地区画整理事業と市街地再開発事業の関係4団体にて、「一体的施行実務ガイドマニュアル」（令和3年3月）を出版し、一体的施行を計画・実施している実務担当者を支援しています。
- ・地方再生（地域の活性化）に資する市街地整備事業のあり方に関して必要な検討等を行っています。

（３）会員からの要請に応じて、賛助会員等による研究会を開催しています。

「生産緑地2022年問題と都市整備の課題研究」
（概要版・報告書）賛助会員研究会 平成31年3月



海外技術交流

海外における土地区画整理事業及び類似の都市開発手法に関し、技術交流を図っています。



「インド高速鉄道と駅周辺整備」講演会（平成31年1月16日 都市計画会館〔東京〕）



「世界の土地区画整理の動向と日本の協力」開催案内
（令和元年12月3日 都市計画会館〔東京〕）

受託調査

土地区画整理事業に関する受託調査を実施しています。

- 令和2年度：国土交通省1件、地方公共団体1件
- 令和元年度：国土交通省2件
- 平成30年度：国土交通省2件
- 平成29年度：国土交通省2件
- 平成28年度：国土交通省2件

入会のご案内

当協会にご入会いただくと、機関誌月刊「区画整理」が毎月送付されるほか、セミナー参加費・専門図書購入費の割引、協会ホームページの会員ページの閲覧など、さまざまなサービスを受けることができます。

会員の構成

本協会の趣旨に賛同する者は、所定の様式に従い入会を申し出た上で、理事会の承認を経ることで会員となることが出来ます。

本協会の会員の構成は、以下のとおりです。

正会員：本協会の目的に賛同して入会した個人又は団体

（土地区画整理事業を行う個人、土地区画整理組合、区画整理会社、地方公共団体、都市再生機構、公社、土地区画整理事業の保留地を管理する者及びこれらの構成する団体又はその他の土地区画整理事業に関係する団体に限る。）

特別会員：土地区画整理事業に関連のある公益事業等を実施する団体で、本協会の目的に賛同して入会した者

賛助会員：本協会の事業を賛助し又は後援するために入会した個人又は団体

名誉会員：本協会に功労のあった者又は学識経験者で、社員総会の決議により推載した個人

入会について

（１）入会手続

本協会に会員として入会しようとする者は、該当する入会申込書に必要事項を記入の上、ご提出していただきます。

（２）会費

①正会員の場合

- ・地方公共団体及び組合等人口規模、面積割合など本協会の会費規程に基づき積算した額
- ・その他の団体

1口 25,000円（1口以上）

②特別会員の場合

1口 50,000円（1口以上）

③賛助会員の場合

- ・法人 1口 50,000円（1口以上）
＜入会金 5,000円＞
- ・個人 20,000円

▶ご入会はこちら



<https://www.ur-lr.or.jp/member/>

協会ホームページのご案内

当協会のホームページは、平成31年4月より全面リニューアルされました。

「出版図書」の目次の掲載や「調査・研究」、「会員ページ」の新設により、内容を充実させました。

公益社団法人
街づくり区画整理協会
Urban Regeneration and Land Readjustment Association

第43回土地区画整理全国大会
日程：令和3年10月21日(木)・22日(金)
場所：浜松市 アクトシティ浜松 中ホール

ホーム 協会案内 セミナー 出版図書 調査・研究 相談室 入会案内

安全、快適、活力ある
まちづくりをめざして

東京都 町田市「南町田グランベリーパーク」

土地区画整理事業とは まちづくりのハードな部分を受け持つ整備手法のうちのひとつで、一定の広がりを持って「まち」を整備することができます。面整備の代表的な手法です。	土地区画整理全国大会 全国の土地区画整理事業を活用した街づくりに携わる関係者が一堂に会し、専門知識の向上、最新情報の周知・伝達及び普及・啓蒙を図る全国大会です。	区画整理と街づくりフォーラム 全国の土地区画整理事業や街づくりに携わる関係者による研究成果等の発表や、講演・パネルディスカッション等により、街づくりの関係者の交流を図るフォーラムです。	月刊「区画整理」 当協会の機関誌で、時代に即したテーマの企画特集や事業地区の事例紹介など、土地区画整理事業に関わる情報を掲載しています。
---	--	--	--

会員ページにおいては、協会保有の以下の資料を閲覧いただけます。

①月刊「区画整理」バックナンバー

- ・平成元年以降の全バックナンバー
- ・年に1度、1年分をまとめて更新しています

②季刊誌「組合区画整理」バックナンバー

- ・昭和59年創刊号～平成17年最終号の全バックナンバー
(旧 社団法人 全国土地区画整理組合連合会が発行)

③土地区画整理全国大会資料

- ・過去開催全国大会の記念講演、事例研究資料等

④調査・研究報告書

- ・過去の「2部会(大都市部会)研究会」、「賛助会員研究会」の成果報告書

⑤講演会資料

- ・社員総会、一部会、三部会等の講演資料

⑥全国市街地整備主管課長会議資料

▶協会ホームページはこちら



<https://www.ur-lr.or.jp/>

協会事務所のご案内

公益社団法人

街づくり区画整理協会

〒102-0094

東京都千代田区紀尾井町 3 番 32 号 都市計画会館 2 階

TEL 03-3262-2089

FAX 03-3262-5907

ホームページ URL <https://www.ur-lr.or.jp/>

交通のご案内

東京メトロ

有楽町線 麴町駅 1 番出口より徒歩 4 分

半蔵門線 半蔵門駅 2 番出口より徒歩 9 分

南北線 永田町駅 9 b 番出口より徒歩 4 分



令和3年4月1日現在